参加無料

関西初上映

神戸市外国語大学魅力発信事業
原爆を記憶する
～「文化・メディア・教育」の可能性～プレイベント　～

被爆証言短編アニメ

『OBON上映会』

2019年10月16日(水)
14:00～16:30

会場：神戸市外国語大学 第2学舎 2階 506教室

「OBON」
監督：アンドレ・ヘアマン
　　　アンナ・サモ（共同製作）
公開年：2018年
上映時間：15分

この映画について

ドイツ人映像作家アンドレ・ヘアマンさんと
ロシア出身でニューヨーク在住のアニメーターとの
共同作品。
爆心地の近距離で被爆した高蔵信子（あきこ）さんの
壮絶な被爆体験を題材にし、収録した高蔵さんの肉声
とともに描いた短編アニメ。
映画祭DOXS Duisburgの「Grosse Klappe」賞、
「Filme im Schloss」のドイツアニメ最優秀作品賞
など、海外の映画祭で数々の賞を受賞した作品。

あらすじ

市内の銀行に勤めていた当時19歳の高蔵さんは、爆心地から
わずか260メートルの近距離で被爆。
閃光を感じた瞬間気を失い
意識を取り戻すと同僚が倒れていた。
その同僚を背負い、原爆投下直後のすさまじい光景の市内を
歩き生き延びた。
厳格だった父が傷ついた高蔵さんを介抱するシーンも同時に
描写し日本の伝統行事の「お盆」を象徴的に描き出している。
年に一度祖先の霊を迎える「お盆」。
亡き父との思い出とすさまじい被爆体験。
そして今を生きる自分。
さまざまな想いが映画の中で重厚に折り重なり
見るものの心を揺さぶる。

主催：神戸市外国語大学
後援：神戸市　兵庫県ユニセフ協会

当日のスケジュール

1. 企画者から趣旨説明
2. OBONの上映
3.交流会

※広島市立基町高校の生徒が
被爆者の体験を聞き取り描いた
「原爆の絵」の展示も同時開催

会場　神戸市外国語大学 第2学舎 2階(506教室)

参加費　無料（事前予約不要。直接会場へお越しください）

問合せ　神戸市外国語大学
総合文化コース准教授 杉山精一　（ 企画担当 ）
mail:seiichi@inst.kobe-cufs.ac.jp

アクセス
神戸市営地下鉄
西神・山手線
学園都市駅 徒歩すぐ